



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 株式会社 翻訳センター 上場取引所 東
コード番号 2483 URL <https://www.honyakuctr.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二宮 俊一郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括 (氏名) 魚谷 昌司 TEL 06-6282-5013
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	2,715	5.3	173	4.0	175	△1.8	112	△4.0
2024年3月期第1四半期	2,578	3.9	167	1.0	178	5.7	117	8.5

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 120百万円 (2.1%) 2024年3月期第1四半期 118百万円 (1.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	33.69	—
2024年3月期第1四半期	35.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	7,988	6,154	77.0
2024年3月期	8,326	6,250	75.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 6,154百万円 2024年3月期 6,250百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	65.00	65.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	0.00	—	75.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	5,850	7.7	410	16.8	425	16.6	280	18.1	83.69
通期	12,100	7.0	1,050	16.3	1,080	15.0	720	1.2	215.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	3,369,000株	2024年3月期	3,369,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	25,522株	2024年3月期	25,522株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	3,343,478株	2024年3月期1Q	3,336,778株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(会計方針の変更に関する注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	6
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進む中で企業収益の改善や設備投資に持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復基調で推移したものの、原材料・エネルギー価格の高騰や急速な円安の進行、世界的な金融引き締め政策の継続や地政学リスクの高まりなど、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような環境のもと、当社グループは2023年3月期を初年度とする3ヵ年の中期経営計画に基づき、当社グループの中核をなす翻訳事業の持続的成長を目指すとともに翻訳支援ツールや機械翻訳など最先端技術の積極的な活用を推し進め、企業のグローバル展開に伴う翻訳・通訳需要の獲得に努めてまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、コアビジネスである翻訳事業が堅調に推移したことに加え、通訳事業の継続伸長もあり、売上高は前年同期比5.3%増の2,715百万円となりました。利益面につきましては、営業利益は前年同期比4.0%増の173百万円、経常利益は持分法による投資利益の減少により前年同期比1.8%減の175百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比4.0%減の112百万円となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、従来報告セグメントとして開示しておりました「コンベンション事業」は、量的な重要性が低下したため、報告セグメントから除外し「その他」として記載する方法に変更しております。また、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

① 翻訳事業

特許分野では前期に引き続き主要顧客である特許事務所や企業の知的財産関連部署からの受注が好調に推移し、売上高は前年同期比4.2%増の749百万円となりました。医薬分野では需要獲得に向け、顧客企業との継続的な関係性の構築と顧客基盤の拡大に努めておりますが、内資製薬からの受注は堅調に推移した一方、外資製薬における受注低調とCRO（医薬品開発受託機関）からの受注減少が響き、売上高は前年同期比3.2%減の598百万円となりました。工業・ローカライゼーション分野では自動車や電機をはじめとする製造業からの受注が好調に推移したことに加え、エネルギー関連企業からの大型案件獲得も寄与し、売上高は前年同期比8.5%増の500百万円となりました。金融・法務分野では上場会社の英文開示に対する機運の高まりからIR関連文書の受注が好調に推移したことに加え、企業の管理系部署からの受注も伸長し、売上高は前年同期比9.5%増の197百万円となりました。

これらの結果、翻訳事業の売上高は前年同期比3.3%増の2,047百万円となりました。

② 派遣事業

派遣事業においては、語学スキルの高い人材への底堅い需要により常用雇用者数は前年同期並みの水準で推移したものの、人材紹介による紹介手数料の減少などにより、売上高は前年同期比2.9%減の289百万円となりました。

③ 通訳事業

通訳事業においては、既存顧客である金融機関、医薬品関連会社、精密・通信機器メーカー、外資系コンサルティング会社からの継続受注に加え、顧客数の拡大が寄与し、売上高は前年同期比37.3%増の284百万円となりました。

④ その他

その他のセグメントにおいては、外国への特許出願に伴う明細書の作成や出願手続きを行う株式会社FIPASが低調に推移したものの、通訳者・翻訳者養成スクール「アイ・エス・エス・インスティテュート」の集客が好調に推移し、売上高は前年同期比1.3%増の94百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は6,869百万円となり、前連結会計年度末に比べ420百万円減少いたしました。これは主に翻訳事業の代金回収により、受取手形及び売掛金が減少しているためであります。固定資産は1,119百万円となり、前連結会計年度末に比べ82百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産が増加したためであります。

この結果、総資産は7,988百万円となり、前連結会計年度末に比べ338百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,605百万円となり、前連結会計年度末に比べ248百万円減少いたしました。これは主に賞与引当金と未払法人税等が減少したことによるものであります。固定負債は228百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は1,833百万円となり、前連結会計年度末に比べ241百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は6,154百万円となり、前連結会計年度末に比べ96百万円減少いたしました。これは主に剰余金の配当を実施したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年5月13日の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,691,074	4,543,780
受取手形及び売掛金 (純額)	※ 2,292,548	※ 1,898,070
仕掛品	154,713	187,240
その他	151,278	240,043
流動資産合計	7,289,616	6,869,135
固定資産		
有形固定資産	59,412	58,914
無形固定資産		
のれん	69,366	65,286
その他	30,274	29,016
無形固定資産合計	99,640	94,303
投資その他の資産	※ 877,752	※ 966,013
固定資産合計	1,036,806	1,119,231
資産合計	8,326,422	7,988,366
負債の部		
流動負債		
買掛金	841,584	756,087
未払法人税等	213,290	79,730
返金負債	3,097	1,307
賞与引当金	287,010	147,345
その他	508,579	620,600
流動負債合計	1,853,562	1,605,070
固定負債		
役員退職慰労引当金	11,408	11,408
退職給付に係る負債	210,477	217,417
固定負債合計	221,885	228,825
負債合計	2,075,448	1,833,895
純資産の部		
株主資本		
資本金	588,443	588,443
資本剰余金	478,823	478,823
利益剰余金	5,199,430	5,094,768
自己株式	△62,785	△62,785
株主資本合計	6,203,911	6,099,249
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	52,319	60,353
退職給付に係る調整累計額	△5,256	△5,132
その他の包括利益累計額合計	47,062	55,220
純資産合計	6,250,974	6,154,470
負債純資産合計	8,326,422	7,988,366

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	2,578,647	2,715,682
売上原価	1,323,711	1,408,657
売上総利益	1,254,936	1,307,024
販売費及び一般管理費	1,087,919	1,133,262
営業利益	167,017	173,762
営業外収益		
為替差益	1,234	—
持分法による投資利益	9,335	4,078
その他	1,182	364
営業外収益合計	11,753	4,443
営業外費用		
為替差損	—	2,727
その他	41	0
営業外費用合計	41	2,727
経常利益	178,729	175,478
特別損失		
固定資産除却損	2,040	491
特別損失合計	2,040	491
税金等調整前四半期純利益	176,689	174,987
法人税等	59,296	62,323
四半期純利益	117,392	112,664
親会社株主に帰属する四半期純利益	117,392	112,664

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）
四半期純利益	117,392	112,664
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	740	8,033
退職給付に係る調整額	135	124
その他の包括利益合計	876	8,158
四半期包括利益	118,268	120,822
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	118,268	120,822
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（四半期連結貸借対照表に関する注記）

※ 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
流動資産	733千円	631千円
投資その他の資産	2,160	1,879

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	6,329千円	5,012千円
のれんの償却額	—	4,080千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	翻訳事業	派遣事業	通訳事業	計		
売上高						
翻訳						
特許	719,076	—	—	719,076	—	719,076
医薬	618,748	—	—	618,748	—	618,748
工業・ローカライゼーション	461,385	—	—	461,385	—	461,385
金融・法務	180,674	—	—	180,674	—	180,674
人材派遣	—	298,427	—	298,427	—	298,427
通訳	—	—	207,457	207,457	—	207,457
その他	—	—	—	—	92,878	92,878
顧客との契約から生じる収益	1,979,883	298,427	207,457	2,485,768	92,878	2,578,647
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,979,883	298,427	207,457	2,485,768	92,878	2,578,647
セグメント間の内部売上高又は振替高	10,070	1,640	43,604	55,315	574	55,890
計	1,989,954	300,067	251,062	2,541,084	93,453	2,634,538
セグメント利益又は損失(△)	184,822	18,173	17,676	220,671	△54,570	166,100

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外国出願特許支援事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	220,671
「その他」の区分の利益	△54,570
セグメント間取引消去	916
四半期連結損益計算書の営業利益	167,017

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	翻訳事業	派遣事業	通訳事業	計		
売上高						
翻訳						
特許	749,797	—	—	749,797	—	749,797
医薬	598,387	—	—	598,387	—	598,387
工業・ローカラ イゼーション	500,977	—	—	500,977	—	500,977
金融・法務	197,860	—	—	197,860	—	197,860
人材派遣	—	289,688	—	289,688	—	289,688
通訳	—	—	284,846	284,846	—	284,846
その他	—	—	—	—	94,125	94,125
顧客との契約から 生じる収益	2,047,022	289,688	284,846	2,621,557	94,125	2,715,682
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上 高	2,047,022	289,688	284,846	2,621,557	94,125	2,715,682
セグメント間の内部 売上高又は振替 高	9,389	1,496	212	11,098	110	11,208
計	2,056,411	291,184	285,058	2,632,655	94,235	2,726,890
セグメント利益又は 損失(△)	160,695	4,517	14,091	179,305	△6,314	172,990

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外国出願特許支援事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	179,305
「その他」の区分の利益	△6,314
セグメント間取引消去	771
四半期連結損益計算書の営業利益	173,762

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来報告セグメントとして開示しておりました「コンベンション事業」は、量的な重要性が低下したため、報告セグメントから除外し、「その他」として記載する方法に変更しております。

また、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。